

VOD「みるみる」の機能活用を推し進め 現代のニーズに対応するシステムを構築

フォーラム フロンティア ネットワーク(株)

ホテルから高評価され導入ホテルの増加が続くフォーラム フロンティア ネットワーク(株)のVOD「みるみる」。高評価の背景には、各種の映像ソースを提供するエンターテインメント機能の魅力に加え、インフォメーションやルームオーダーなど販促や運営管理に関わる機能の充実もある。同社では、「みるみる」の幅広い機能を最大限に活用できる会計管理システムも開発し、「みるみる」を核にホテルの弱电システム全般を構築した事例もあるという。本稿では、「みるみる」を核としたホテル弱电システムの構築について、同社の取り組みをレポートする。

「みるみる」を核に 弱电システム全般を構築

昨年12月、東京・歌舞伎町に改装オープンした「HOTEL Te MOANA」(24室)は、VOD「みるみる」、客室選別機「新・八華」を導入するとともに、会計管理のフロントコンピュータから監視カメラ、Wi-Fi、各種弱电関連の配線工事まで、ホテル弱电システム全般をフォーラム フロンティア ネットワーク(株)が構築したホテルだ。

また、既存の弱电関連の設備を一部活用しながら、「みるみる」を核に再構築したケースも含めると、同社が弱电システム全般を構築したホテルはすでに10軒を超えているという。

同社代表取締役・渡邊敏樹氏は「当社は、ホテル弱电システムの総合メーカーという方向に進む考えはありません。今後も『みるみる』『新・八華』など先進性のあるシステムの開発・供給に注力していきます。ただ、これらの

機能を最大限に発揮させるために、関連する機器・システムの開発も手掛けた結果、弱电システム全般の構築にも対応できるようになったということです」という。

現在のレジャー・ラブホテルにおいては、会計管理コンピュータ、VOD、マルチメディア集中管理システムなど、さまざまな機器・システムが連動して稼働している。これまでは、会計管理コンピュータを核に各種の機器・システムが追加され連動して稼働する仕組みで構築されてきた。その結果、同一メーカーの機器・システムで統一されるケースがほとんどといってよい状況となっている。

しかし、現在、レジャー・ラブホテルの市場は大きく変化している。利用者のニーズもホテル側のニーズも変化し多様化してきている。ホテルがこの変化に効率的に対応していくためには、ホテルにとって必要な機器・システムを、メーカーに捉われずに採用・追加できる状況が求められているといえる。IT分野を見れば、さまざまなケースでオープンソース化が進み、利用者の選択肢が広がっており、レジャー・ラブホテルのIT関連要素においても、その流れがはじまってきたといえる。

「みるみる」の多彩な機能を 最大限に引き出すシステム

現在のレジャー・ラブホテルの各種弱电システムは、ホテル館内の管理とオペレーションに大きく関わっている。同社の会計管理システムはどのようなもののだろうか。

「弱电総合メーカー各社のハイエンド

機のような多彩な機能はありません。『みるみる』の活用を第一に考え、必要な機能を絞って入っています」(渡邊氏)。とはいえ、「みるみる」「新・八華」のコントロール機能はもちろん、会計機能をみれば、キャッシュドロアーの運用もできれば客室精算機、フロント精算機との連動も可能。操作はキーボードでもタッチパネルでも可能なのはもちろん、タブレットでの操作にも対応し、好評を得ている。リネン画面や顧客管理の機能もあり、さらに客室の電気錠、照明制御、誘導機能など管理機能もあり、会計と館内管理の両機能を1台のコンピュータに併せ持つタイプだ。

この会計管理システムとの連動により、「みるみる」はルームオーダー機能やインフォメーション機能などが利用者とホテルの両者にとってより活用できることになる。「新・八華」もリアルタイムで料金や画面表示の変更が連動できるようになり、客室選別の役割から本来の意味でのインフォメーション端末に進化することになるのだ。

シンプルな構成で 信頼性の高いシステム

一方、レジャー・ラブホテルの会計管理システムには、信頼性とトラブル時の即時対応力も求められる。

同社では、これまでもメンテナンス・サポート体制を整備してきたが、弱电システム全般を構築したホテルに対応すべく、365日・24時間のサポート体制を強化して臨んでいる。同社フィールド・サポートマネージャー福田和之氏は「各種の機器・システムの構

フォーラム
フロンティア
ネットワーク(株)
フィールド・
サポート
マネージャー
福田和之氏



フォーラム
フロンティア
ネットワーク(株)
代表取締役
渡邊敏樹氏



成が複雑になれば、それだけトラブル発生の可能性は高くなります。当社の会計管理システムと『みるみる』サーバーはLAN配線1本での接続。非常にシンプルで、システム構成上からもトラブルが発生しにくい仕組みです」という。さらに『みるみる』で培った遠隔サポート・メンテナンスの技術は非常に高いレベル。またネットワーク技術の進歩もあり、遠隔で即座に対応できるケースが多い」という。

実際に前述の「HOTEL Te MOANA」においては、各種配線も含め弱电システム全般の工事ながら、従来の弱電工事に比べ大幅な短工期・少人数施工で対応し、関係者から驚かれたという。それだけシンプルな構成のシステムと

いえる。

さらに、同社は、今年4月からNTTの「光コラボレーション」に参画し通信回線事業およびプロバイダ事業「みるみる光」を開始した。これにより、通信回線そのものを回線事業者ではなく同社が運営・管理できることになり、契約・工事からメンテナンスまで一元管理できるようになった。これにより通信関連分野も含めホテル側のコストダウンが図れるとともに、回線に起因するトラブル等への迅速な対応・解決もできるようになっている。

『みるみる』や『新・八華』に加えて会計管理システムや周辺の各種機器・システムを扱うことで、ホテル側の視点で、機能とコストの両面においてメ

リットのある、より幅広い提案ができるようになったといえます」(渡邊氏)。

現在、市場の変化、ニーズの変化のスピードはますます速まっている。「当社が最も重視するのは、変化への対応力です」(渡邊氏)というが、変化への効率的な対応が求められる現在のレジャー・ラブホテルにとって、同社の弱电システム全般に拡大した取り組みは、新たな選択肢となるといえる。

【問合せ】
フォーラム フロンティア ネットワーク(株)
東京都千代田区飯田橋 1-12-15
九段大和ビル 4F
TEL.03-3262-5070
FAX.03-3262-5072
<http://www.ff-network.com>
<http://millmill.net>